

# 令和元年度 鶴見・まちづくりゼミナール 実施レポート

## ● 第1講開催概要

開催日時：令和元年12月7日(土) 9:30~12:30

会場：鶴見区役所6階 8号会議室

テーマ：開講式、鶴見区の成り立ちを知る

コーディネーター：山路清貴氏（横浜市まちづくりコーディネーター）

出席者：受講生23名、区役所関係者5名 計30名（うち、保育申込者2名）

## ● 講座当日の様子

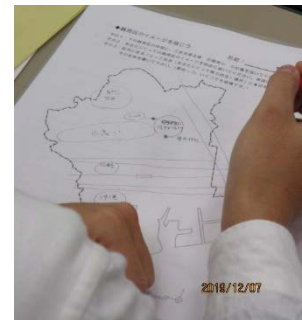
### (1) オリエンテーション

コーディネーターの山路先生から、鶴見まちづくりゼミナールのねらいと組み立ての説明がありました。

### (2) 受講生の自己紹介

鶴見区のイメージを描こう！というワークでは、実際の地図を見ずに、それぞれの記憶をたどりながら、鶴見区の枠図に①京浜東北線、②鶴見川、③とっておきの場所の位置を書きました。

作成した地図をもとに、受講生23名が応募動機やとっておきの場所などについて、自己紹介を行いました。



今回の受講生は、20歳代から80歳代までと老若男女！

大学生、子育て世帯、会社員、自治会町内会の役員、これから地域で活動してみようと思っている人、既に地域で活動をしている人など背景も様々です。

受講動機も、「鶴見のことが知りたい」、「情報収集と仲間づくりがしたい」、「気軽に参加できる居場所づくりがしたい」「既に地域で活動をしているが、改めて勉強しなおしたい」など、皆さん様々な理由で応募されたようです。



### (3) 講義「鶴見区の成り立ち」

コーディネーターの山路先生から、地形・歴史・地域組織の観点から、鶴見区の成り立ちに関する講義を受けました。



#### ● 受講生の感想（一部抜粋）

実際に様々な地区に住む方々のお話は非常に新鮮であった。  
また、講師のお話の中では、特に地形・交通というものがまちづくりやまちの形成において非常に重要な役割を有してきていることが分かった。  
鶴見のまちづくりに関する行政や企業についても話や取組の中で知りたいと思った。

非常に面白かったです。地域の成り立ちなどを知ると、地元度がさらに深まります。コミュニティづくりや地域の安心安全の自治に対して興味が湧きました。  
今まで縁遠く感じていた町内会にも顔を出したりしたいなと思います。

鶴見の「ブラタモリ」を見ているような講義でとーっても楽しく受講させていただきました。  
次回は実際のまちあるきなので、リアルなブラタモリですね。とても楽しみにしています。

いろいろな年代、職業の方が参加されているので、今後どのような話が出てくるのか楽しみにしています。鶴見のことが意外とあやふやなイメージしかなかったと思った。家で再学習してみようと思います。

#### ● 編集後記（編集者：原田（鶴見区地域力推進担当））

鶴見・まちゼミ、3月までの全6回の講座が開講しました。30名の募集に対して、26名の申込み。数字だけを見ると定員を満たしていませんが、まちづくりの講座でこの数字は快挙です。受講生の皆さんも20代～80代と年齢も経験も様々で、何より意欲があって、これから始まるお付き合いが楽しみになりました(＾○＾)